

学習指導案(国語)

授業者:

1 対 象 第1学年3組

2 日 時 2024年5月21日(5限)

3 場 所 第1学年3組教室

4 単元名 文の成分「教材名 文の成分」『新しい国語I』(東京書籍)

5 単元について

(1) 単元の目標

「主語」「修飾語」「述語」などの文の成分の働きを理解することができる。【知識・技能】

(2) 教材観

中学校に入学してから初めての文法単元として、「言葉の単位」を学習した。「言葉の単位」では私たちが普段話したり書いたりしている言葉には文章・段落・文・文節・単語という単位があることを学習した。本教材では、その中の文節を取り上げ、1つ1つの文節が文の中でどのような働きをしているのかを学習する。「文の成分」を学習することは文を組み立てる上で基礎となる力であるため、正確で分かりやすい文を組み立てる力が身につくと考えられる。

(3) 生徒観

中学校に入学してから初めての文法単元「言葉の単位」では、文をどこで区切るかによって意味が変わることをよく理解している様子が見られた。一方で文を文節で区切るということにおいては、できる・できないに差があったように感じられた。また個別で働きかけていく必要のある生徒が見受けられ、一度で全体に指示が通りにくいことがある。言葉だけの説明は理解しづらい様子も見受けられるため、視覚支援を大切にしていける必要がある。

(4) 指導観

文法の学習は受動的な学習になってしまいがちなので、班活動やゲーム感覚でできるものを取り入れ、主体的・協働的に学習することができるようにした。班でつくった文を黒板に貼る機会があるため、どのように貼るのか事前に例を示すようにする。文法単元に抵抗がある生徒がいることも考えられるため、言葉カードのゲームではあらかじめ、文節に区切ったものを用意し、文の成分に焦点をあてることができるように工夫した。本時の展開の最後に、意味が曖昧な例文を示すことによって、正確で分かりやすい文をつくるためには今日気付いたことを意識する必要性を感じられるようにした。

6 単元の評価規準

A 知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			E 学びに向かう人間性
	B 聞くこと・話すこと	C 書くこと	D 読むこと	
「主語」「修飾語」「述語」などの文の成分の働きを理解することができる。				進んで、文の成分について理解し、課題に取り組もうとしている。

7 本事案

① 本時の目標

- ・「主語」「修飾語」「述語」などの文の成分の役割を理解することができる。
- ・文の成分の役割を理解した上で、正確で分かりやすい文を作るために意識するべきことに気付くことができる。

② 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 10分	① 文節の区切り方の復習 ② 文の成分について学習する。(小学校の復習) ③ めあてを確認する。	・文節は言葉の単位の一つであること、「ネ」「ナ」「サ」「ヨ」で区切ることができることを想起させる。 ・文節の一つ一つには主語・述語・修飾語という働きがあることを確認する。	
文の成分を使って、正確で分かりやすい文を作ろう!			
展開 30分	④ 文節単位の言葉カード(12枚)を全て用いて、文を作る。(班活動) ⑤ 班ごとに「かっこいい」を使った文を黒板に貼る。 ⑥ それぞれの文ごとに文の成分を確認していく。	→チーターは・彼は・野球選手は・動物園に・服を・早く・とても・かっこいい・動物だ・着る・走る・いる ・班ごとにいくつの文ができたか共有することで同じ言葉カードでも文の数が異なることに気付かせる。 ・座席が班の状態のまま指示を出すため、指示を聞くことができる状態になっているか確認してから、指示を出す。 ・どのように黒板に貼るのか例を示すようにする。 ・同じ言葉カードでも多様な文をつくることに気付かせる。 ・言葉カード一つ一つには役	進んで、文の成分について理解し、課題に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 「主語」「修飾語」「述語」などの文の成分の働きを理解することができる。【知識・技能】

	⑦文を作ってみて、気付いたことを共有する。	割があることを確かめる。 ◎「カッコいい」という言葉のように、修飾語にも述語にもなれるものがあるということに気付かせる。	
まとめ 10分	⑦ 意味が曖昧な例文を確認する。(例文:猫は必死に逃げるネズミを追いかける。)	・意味が曖昧な例文を提示することで、正確で分かりやすい文をつくるためには文の成分を確認する必要があることを伝える。	

9 板書計画

文の成分

めあて: 文の成分を使って、正確で分かりやすい文をつくろう！

言葉カードを使って文をつくろう！

条件①: 十二枚の言葉カードを全て使い切ること。

他の班がつくった文

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

ポイント

・言葉には(①カッコいい)のように

(②述語)にも(③修飾語)にもなれる言葉がある。

↓だから、文の成分を確かめることは大切。

例文: 猫は必死に逃げるネズミを追いかける。

↓必死なのは猫・ネズミ？

10 準備物等

ワークシート・言葉カード

II 講評欄